



新緑は萌黄色、ほっとする色。箕面の低い山々が新芽でモコモコと膨らみ、ふわふわのクッションのよう。毎年この春を待ちわび、箕面はええなあ、と思う。

でも九州では、この春の日常を突然奪った平成28年熊本大地震。一連の地震の死者は48人、まだ行方不明者も…。とにかく余震が凄い。体感として残っている阪神淡路大震災のあの恐ろしい揺れが1週間、700回以上も続いているなんて。熊本、大分と範囲は広がり、避難者の数は10万人以上という。春の日常を自宅ではなく、避難所で暮らす人々の救済に、ボランティアの受け入れがやっとスタートした。どうぞ地震の早い終息を心から祈ります。

※ご利用者様からスタッフ紹介をと要望がありました。《サービスの現場から》と合わせ、スタッフの紹介もしていきます。

《サービスの現場から》

エッコロ会員のYさんから家事支援のご依頼。4月後半に5人目のお子さんの出産を控え、生まれたら食事作りを中心としたサービスを希望。Yさんは2人目から自宅出産を実行されていて、病院で産むことが当たり前と思っていた私は、へー！でした。まあ考えてみれば私たち母の時代は自宅出産が当たり前だったなあ。この半世紀の間に病院出産へと世の中は変わってしまった。自分の感覚、気持ちを大切にしたいと思ったというYさん（最初は病院出産、違うと思ったそうです）。自宅出産は助産師さんの協力・指導はあるが自分で出産するということ。女性が本来持っている体力・気力・知力を使うこと、なんですね。

さて、担当してくれるスタッフを誰にするか、年齢も近いスタッフにしようかと考えていたら、子育て支援をしたいと言ってサポーターを名乗り出たのが石川さんだった。現在、働きながら2人の子供（孫達）を育てている娘さんの子育て支援に奔走中の彼女、自身の子育て時代に母親の協力がどれほどありがたかったか、と。（Yさん、無事男の子が誕生！18日～サービススタート！石川さん、三浦さん、私で頑張りま～す）

① 石川邦子さんのこと。年齢は私（65歳）より若い！



彼女との出会いはもう20年前？まだ介護保険前の事業所で一緒に働いた仲間。“将来何か一緒にできたらいいね！”と話し合っていた（二人とも40代、元気やった！）。その後彼女は別の事業所に移り、デイサービスやケアマネを経験したが、高血圧や股関節炎に悩まされ、無理できないということで仕事を辞めていた→もったいない！少し一緒にしない？と誘って現在に至っている。20年前の一緒にしようと思っていた内容とはずいぶん違うかも…、ね。

住み慣れた家、地域で、自分らしく暮らすお手伝いを出来ている幸せを私たちは共有していると思っ
ている。☆きっちり屋さんの性格→お金の出入りをお任せ。☆☆専門職→何でも来い！の力持ちではなく、
有能サポーター。どんな困難ケースもなんのその。☆☆☆とにかく真面目！→しつこい位（大事なことは2~3度言う。これって年齢ではありません、性格）。体に気をつけ、末永くよろしく！